

# 通学路 宝来坂で人身事故 安全対策を



誠心会 ● 山本 吉宗 議員

**問** あわや死亡事故に繋がる人身事故が発生しました。自動車の暴走によりカーブミラーに激突し、ミラーが倒れ、歩行中の男性の頭を直撃し、8針を縫う大事故となりました。この道路は、石部中学・高校の通学路であり再発を防ぐための安全対策が急務です。

**答** 本市では平成27年1月26日に「湖南市通学路安全推進会議」を発足し、同時に「通学路安全プログラム」を立ち上げました。道路の危険箇所を地域・学校行政が現状を把握し対策を講じていくものです。すでに県土木事務所道路計画課と甲賀警察交通課と協議を行い、場所は違いますがドライバーに注意喚起を促す対策を講じています。

安全対策の注意喚起として、県と警察が協

議して最大の効果を発揮するよう路面標示を行っているのですが、安全運転はドライバーの交通マナーに委ねることが多いです。県からは、速度減少の注意喚起を行うため、平成28年度の喚起標示の設置に前向きとの回答を得ています。

**問** 分かりやすい路面標示を。

**答** 「へ」の字型の路面標示は速度減少を示す注意喚起です。より効果のある路面標示について道路管理者と協議し検討を行いたいと考えています。



▲宝来坂の事故発生現場。見通しが悪いので注意を。

# 交通政策について



議会改革ネットワーク ● 矢野 進次 議員

**問** 草津線複線化促進期成同盟会結成から50年。甲西駅行き違い線設置の早期実現のため、JRに対して工事費の負担などで積極的な提案が必要ではありませんか。

**答** 同盟会では利便性向上のため、第一ステップとして甲西駅行き違い線の設置をJRに要望していますが、目標達成の目途がたつていません。理由は、継続的な利用者が増えず横ばいのため、経営判断に基づくものです。



**バスの代わりにデマンド型乗り合いタクシーを**

**答** 公立甲賀病院への直通バスの運行は1昨年実証実験をしました。利用者は一台当たり1.3人です。「めぐる

くん」は、基幹路線はバス、支線はまちづくり協議会などが主体のデマンド型タクシーの運行を検討していきます。

**認定こども園**

**問** 平成28年度から平松・菩提寺の2園が認定こども園となりますが取り組みは。

**答** 定期的に幼稚園と保育園の合同園長会や幼保合同の全員研修会を開催して、認定こども園の教育指針、保育要領について共通理解を深めています。

**問** 保育士の確保と入園希望者への対応は。

**答** 3歳以上の子ども（2号認定）は入園できますが、3歳未満児は申込期間外の場合、入園できないこともあります。認定こども園は幼稚園と保育園のそれぞれの機能を兼ね備えていて、時間外保育も現行と変わりません。